

第15期 経営計画書

(令和2年4月～3年3月)

共通目標・自立的、主体的に取り組める環境作り。

・利用者の方の健康管理。

・業務の円滑な遂行とクレームゼロ。

社会福祉法人 朋友会

目 次

1) 社会福祉法人「朋友会」設立趣意書	1
2) 社会福祉法人「朋友会」経営理念	2
3) 外部環境の確認	4
4) 内部環境の確認	5
5) 環境分析/環境分析の展開	6
6) 成功事例の研究	7
7) 法人の位置づけ	8
8) 事業範囲と考え方	9
9) マネジメント分析	10
10) 基本戦略/個別戦略	11
11) 長期、中期目標	12
12) 中期運営プラン	13
13) 組織図	14
14) 私たちの基本ルール	15

社会福祉法人『朋友会』設立趣意書

ろう人、こども、障がい者、社会では弱者として扱われる人たち、しかし今日私たちが、ろう人、こども、障がい者から学ばなければならないことのいかに多いことか。

与えているつもりが与えられ、与えられているつもりが与えている、与えるということが、いかに人に喜びを与え成長させるか。福祉事業を通じて、地域社会の発展と人財育成、次世代教育に貢献するために私たちはここに社会福祉法人『朋友会』を設立する。

- ・ろう人、こども、障がい者、けんじょう者の共存共栄の地方都市モデルを創る。
- ・教育、福祉、医療、企業、地域コミュニティの連携の強化。
- ・障がい者の自立支援、家族支援。
- ・福祉事業を通じて幼、少年教育に取り組み、次世代教育に貢献する。
- ・『朋友会』職員の生活の安定と人間性の向上。

これらのことを実現したとき、私たちが関わるすべての人が希望と安らぎを感じ、勇気と自信に満ちた人生を送ることができ、そして私たち自身が、困難に立ち向かう中でこそ、人間としての成長があることを確信する。

私たちは、この願望、目標を達成するためにはどんな困難や障がいも乗り越えていくことをここに誓う。

また、私たちは『積極的心構えを持って人生を生きる時、一見不幸に見える問題も、実は姿を変えた恵みである。』ということを知っている。

二度と生まれることのできないこの人生の一瞬一瞬を、私たち一人ひとりがいつも完全な主人公として生きることをここに宣言する。

平成17年11月18日

社会福祉法人 朋友会 理事長 平根 朋幸

経営理念

私たちの使命

- ・私たちは、福祉事業を通じて、地域社会の発展と人財育成、次世代教育に貢献します。

私たちの目指す姿

- ・私たちは、障がいの有無や年齢に関わらず、すべての人が幸せに暮らせる社会の実現を目指します。

行動指針

利用者第一主義

- ・私たちは、長所を最大限発揮できるように支援をします。
- ・私たちは、一人ひとりに合った支援をします。
- ・私たちは、希望や思いを実現できるように支援をします。
- ・私たちは、受容と共感を関わりの基本とします。
- ・私たちは、利用者の方の権利を守ります。

私たちの目指す人財育成

- ・私たちは、素直さとプラス発想を大切にします。
- ・私たちは、長所を伸展して社会や人に貢献します。
- ・私たちは、共に学び、共に成長します。
- ・私たちは、約束を守り、愚痴、陰口を言いません。
- ・私たちは、気づいたことは即行即止、間髪いれずに実行します。
- ・私たちは、根本的、長期的、多面的にとらえ、物事を進めます。
- ・私たちは、自己研鑽と挑戦を続けます。

私たちが考える、「地域社会の発展」

誰もが持てる力を最大限発揮し、その人らしく、いきいきとした生活を送ることができる。
そして、障がいのある方が、自分の障がいを感じないで普通に暮らせる社会の実現。

私たちが目指す、「人財育成」

人財育成とは、自らが人財となり、全力で仕事に打ち込むことの大切さを次世代に伝えること。

私たちが考える、「次世代教育」

生活のしづらさや、生きづらさを抱える方との関わりは、教えられ、気づかされることの連続です。
そのことを地域交流、次世代交流を通じて一人でも多くの方に伝えること。

私たちが考える「その人らしさ」

自分でなければならない存在価値を見だし、生きがいを見つけていくこと。
私たちは、一人ひとりの個性を尊重し「その人らしさ」を大切にします。

私たちが考える、「すべての人」

現在と未来の利用者、職員、取引先の方々、関係機関の方々、地域住民の方々、そしてその家族。

私たちが考える、「幸せ」

生きる目的や目標があること、誰かの役に立ち必要とされている実感、喜びや悲しみを共にしてくれる
家族や仲間にも恵まれること。

外部環境の変化

1. 環境要因	2. 機会	3. 脅威
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・利上げ効果への期待感 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続的人口減少 ・都市部一極集中
経済	<ul style="list-style-type: none"> ・低金利による融資可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易摩擦や消費税増税による景気減速の可能性
本人家族	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の高齢化、重度化 ・家族の高齢化 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人 株式会社、NPOの区別 がなくなってきている
業界動向	<ul style="list-style-type: none"> ・就労系、放デイの普及 ・障害者優先調達法施行 ・障がい者雇用率2.2% 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉予算 抑制傾向 ・人手不足倒産 過去最高 ・離職率 全国平均年間15%
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・太田支援学校が近い ・市役所周辺の再開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・急激な高齢化と人口減少
同業他社	<ul style="list-style-type: none"> ・県北に社会福祉法人が 少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人医療分野からの参入 ・株式会社NPO等の参入

内部環境の確認

1. 経営資源	2. 強 み	3. 弱 み
ヒト 【人材】 【人員】 【組織風土】 【技術・ノウハウ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内重度者対応に定評 ・ 知的に障がいのある方のトータルな支援が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者対応技術が弱い ・ 有資格者が少ない
モノ 【品質・サービス】 【売上・客単価】 【商圈・立地】 【建物・設備】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内 通所 GH 相談 No.1 ・ 太田支援学校が近い ・ 市役所脇に店舗型施設開所 ・ 干イモ好評 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労事業に弱さ ・ 放デイ登録者が少ない
情報 【情報収集】 【伝達・共有】 【業務管理】 【会議制度】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国会議で情報収集 ・ 研究会等への参加 ・ ソフト活用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労関係情報の収集に弱み
財務 【自己資本】 【金融機関】 【返済能力】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金融機関と経営計画を共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模投資ができない

環境分析

<p>自社の強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内重度者対応に定評 ・トータルな支援が可能 ・市内 通所 GH 相談 No.1 ・太田支援学校が近い ・市役所協に店舗型施設開所 	<p>外部環境による機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族の高齢化、重度化 ・就労系、放デイの普及 ・太田支援学校が近い ・市役所周辺の再開発 ・県北に社会福祉法人が少ない
<p>自社の弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対応技術が弱い ・有資格者が少ない ・就労事業に弱さ ・放デイ登録者が少ない ・就労関係情報の収集に弱み ・大規模投資ができない 	<p>外部環境による脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急激な高齢化と人口減少 ・採用難と離職率の高さ ・老人、医療分野からの参入

環境分析の展開

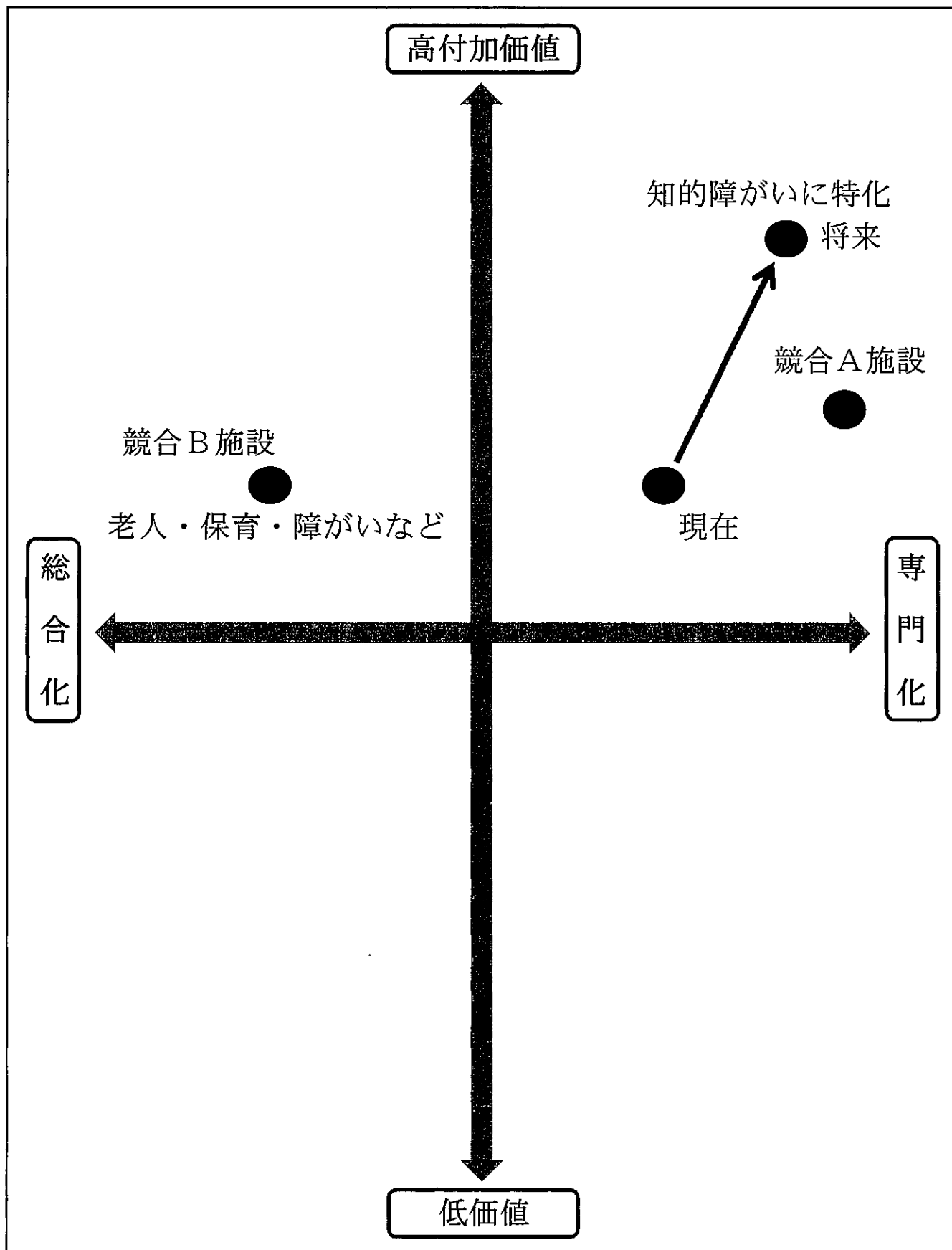
<p>強みで機会を取り込む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ GHで高齢化、重度化に対応 ・ ベーカリーカフェでの就労事業強化
<p>強みで脅威を克服する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化、重度化対応による他事業者との差別化。 ・ ベーカリーカフェによる他事業者との差別化。
<p>弱みで機会を逃がさないようにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化対応の研修機会の確保。
<p>弱みと脅威による最悪のシナリオを回避する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働きやすい環境整備 ・ 定期訪問の実施

成功事例の研究

事例

成功要因	<ul style="list-style-type: none">・ 最重度者の積極的受け入れ・ 事業の総合化（老人、保育、障がい など）・ 事業の専門化（自閉、盲知的など）・ 社員教育に力を入れている・ 多機能化（入所・通所・GH・居宅）・ コンサルタントの協力・ 仕事の分業（調理師が作って利用者が販売）・ 作業工賃の高額化に特化する
自社への活用	<ul style="list-style-type: none">・ 最重度者の積極的受け入れ・ 事業の専門化（知的障がいに特化）・ 社員教育に力を入れる・ 多機能化（通所・GH・短期入所・相談）・ ひまわりの作業工賃は利用者のやりがい重視で、現状維持をめざす・ ひまわりぱんの作業工賃は月20,000円以上維持

法人の位置づけ

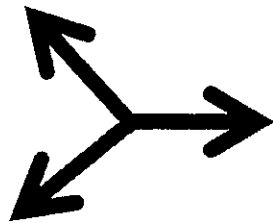


事業範囲と考え方

1・事業範囲の内容

何を

- ・生活支援　・就労支援
- ・放課後デイサービス
- ・グループホーム
- ・相談支援



誰に

- ・知的に障がいのある方

どのように

- ・一人ひとりに合った環境設定や専門性のある丁寧な支援を提供する

2・事業を展開する範囲、領域

- ・常陸太田市　及び　隣接市町村において知的に障がいのある方の支援に専門特化していく

3・考え方の内容

- ・知的に障がいのある方の、幼少期から高齢期までのトータルな地域生活支援
- ・相談支援／児童発達支援／放課後デイサービス／就労移行支援／就労継続B型支援
生活介護／グループホーム／日中サービス支援型グループホーム
アパート型グループホーム等

マネジメント分析

1. 検討事項	2. 現状と課題	3. 解決の方向性
【人材】	新卒者の確保	毎年採用（HP、SNS強化）
【人員】	職種によって応募者が少ない	募集の多チャンネル化と働きやすさ改革
【組織風土】	意見交換の場がない	懇親会等の開催
【技術・ノウハウ】	支援技術にばらつきがある	研修での実技指導実施
【品質・サービス】	放デイ登録者の確保	定期訪問の実施（週1回）
	就労事業の営業力強化	担当者による訪問日を確保
【売上・客単価】	受注単価が安い	新規受注は価格交渉していく
【建物・設備】	経年劣化による補修や入替が必要	毎年少しずつ取り組んで行く
【業務管理】	書式管理等ばらつきがある	本部管理に統一していく

基本戦略・個別戦略

1. 戦略項目	2. 課題	3. 解決策
基本戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知的障がい者支援に特化 ・ 高齢化、重度化に対応 ・ 障がい分野地域N o 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援の質の向上 ・ 研修機会の確保 ・ 太田市内でのシェア確保（40％）
支援戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援の質の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国家資格者の育成 ・ 専門研修の機会確保 ・ 高齢化、重度化に対応 ・ 権利擁護の取組み強化 ・ 高工賃に向け仕事確立
地域戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域交流、貢献の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアの育成 ・ 地域清掃、除草、緑化
営業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内シェア確保（40％） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頼まれごととは試されごと ・ コツコツとお知らせ ・ 定期訪問の実施
人財育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新卒者の確保と育成 ・ 高齢者対応能力の向上 ・ 重度者対応能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業説明会の開催 ・ 資格取得や研修の充実 (痰吸引、認知症専門士等) (行動障害支援者研修等)

長期・中期計画

1. 期限	2. 定性目標	3. 定量目標
長期目標 令和5年 3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援レベルと スタッフ好感度 市内N○1を 達成します 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有資格者 40%以上 (現在33.7%) ・ 延就職者 7名 (現在4名) ・ 通所登録者 120名 (現在108名) ・ 年間見学者 200名 ・ 年間見学事業者 20施設